



CAD利用技術者試験
認定試験会場校

Microsoft
Office Specialist

Authorized Testing Center

試験実施会場校

ICCがわら版

いわきコンピュータ・カレッジ

No.28



発行者 いわきコンピュータ・カレッジ保護者会 会長 三浦 由紀子
〒971-8185 いわき市泉町四丁目13-12 Tel:0246-56-0711 Fax:0246-56-0751
URL https://www.iwaki-cc.ac.jp E-mail info@iwaki-cc.ac.jp



卒業を祝して

保護者会会長 三浦由紀子



第28期生
の皆さんご卒業、誠におめでとうござい
ます。また

今日に至るまで、日々の成長を温かく見守ってこられましたご家族の皆様にも、心よりお喜び申し上げますとともに校長先生ならびにご指導にあられた諸先生方、さらに御支援、御協力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。さて、ご卒業を迎える皆さん、入学以来、自分の目標に向け日々努力を重ね、頑張ってきたと自覚が湧いてくる。この二年間、資格取得に向け勉学に励み、就職活動や卒業研究に毎晩遅くまで取り組んでこられました。そして仲間と共に

職業訓練法人 いわき情報処理開発財団

理事長 清水 敏男



第28期卒業
生の皆さん、御卒業、誠におめでとうござい
ます。

また、今日に至るまで、温かくその成長を見守ってこられました御家族の皆様にも、心よりお喜び申し上げますとともに、御指導にあられた諸先生方、さらには、温かい御支援、御協力を賜りました関係者並びに地域の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。さて、AIやロボットなど革新的な技術を様々な分野において展開する「Techstars」の取組みが進められる中、いわき市におきましては、「いわき新時代への挑戦」のひとつとして、「将来を見据えた次世代エネルギー社会の構

絆を深め、スポーツ大会・文化祭・いわ

き踊り等の様々な行事を学生会の皆さんを中心に盛り上げ参加されていきました。人生の中でこの一瞬の思い出は、大切な心の中の宝物になると思います。ここでの思い出を胸に刻み、時に振り返りながら、社会人としての一歩を踏み出して下さい。人と人は出会いや別れの繰り返し、社会人になれば、不安や失敗することはたくさんあると思います。時にその経験が生きていく上での糧になるでしょう。悩んだ時は、誰かに相談して下さい。私達は皆さんを応援しております。ここで学んだ知識や技術を活かし新しい未来を築き活躍されることを願っております。最後にありますが、本校の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

「業」に重点的に
取り組んでおり
ます。

風力メンテナンス産業やバッテリーなど次世代エネルギーを軸とした新たな産業の集積や雇用の創出につなげ、復興・創生を実現していく上では、あらゆる産業に浸透している情報処理技術に精通した若い人材が必要不可欠となります。そのため、本校において、ロボットやドローンなど新しい訓練機器や先端教材に触れ、情報化時代を生き抜くために必要となるICTリテラシー等の知識とスキルを習得された皆様には、これからの地域を担う貴重な人材として、自信と向上心を持って大いに活躍されることを期待しております。結びに、晴れの門出にあたり、皆さんの前途を心から祝福いたしますとともに、今後の御健勝と御精進を祈念いたしまして、卒業の

ハイブリット型人材諸君へ!

アルパインビジネスサービス株式会社
代表取締役社長 神長 眞一



昨今の企業
活動の変化に
目をやると、
AIやIoT
T、RPA等

に代表されるように、付加価値の低い仕事はソフト的・自動処理される時代になってきました。更に人々の暮らしの変化に目をやると、車の自動運転やVRなど人々の暮らしも大きく変わろうとしています。そんな変化や多様化の中で、正にこの変化の主役はソフトウェアであり、皆さんがICCで学んだ事そのものであるといえます。更にこのICCでの教育では、ソフトウェアの領域だけでなく、

ここに卒業を迎える「ハイブリット型人材」諸君には、これまで学んだ事に社会人としての活動を通じ更にその知識をブラッシュアップさせ、世の為、人の為、そして皆さんが生まれ育った地域の為に活躍してくれる事を心より楽しみにしております。

卒業おめでとう

同窓会会長 斉藤 貴則



新しい門出にあたりみなさん
に「おめでとう」の言葉を贈り
ます。

さて、いよいよ春からは、社会人となりませんが、社会生活がスムーズにいくためのヒントを三つ差しあげたいと思います。一つ目は「人とのつながり」を大切にすること。社会に出て大切なのは「信用・信頼」です。人との出会いをチャンスにし、感謝の思いを常に持つてください。

二つ目は「学び続け、努力し続けること」社会に出ると従来の常識が成り立たず、進路選択もその後の生活設計もどうなる

2年連続

最優秀賞受賞!

東日本ブロック 合同卒業研究発表会

2月14日、岩手県北上市の日本現代詩歌文学館にて、第17回東日本ブロック合同卒業研究発表会が開催されました。

この発表会は東北にある姉妹校、あおもりコンピュータ・カレッジ、北上コンピュータ・アカデミー、そして本校が発表技術と研究成果を競うものです。また、長崎県諫早市の姉妹校いさはやコンピュータ・カレッジはビデオでの発表という形で参加しました。



令和元年度第17回東日本ブロック卒業研究発表会

いわき交流ひろば

福島県主催の「いわき交流ひろば」が2月16日(日)、いわき芸術文化交流館アリオス前の平中央公園で開かれ、本校の2年生全員と職員2名で参加しました。

内容は、卒業研究で制作した作品を展示し、市民の皆様にご紹介させていただきます。

当日は、あいにくの雨にも関わらず多くの方が来場しました。特に子供達は、AIロボットやMRのゲームなどに興味津々でした。また、2020年度から実施予定の小学生プログラミング教育やコンピュータ・カレッジの教育訓



MRを体験中

練についての質問などもあり、充

実した訓練設備や卒業研究のレベルの高さに驚かれていました。



卒業生の皆さんへ

校長 四家茂勝

新元号「令和」の響も耳慣れてきました。皆さんは記念すべき令和初の卒業生です。卒業の時を迎え、何を思っていますか。スポーツ大会、学外研修、資格試験への挑戦、One Teamで苦悩し遅くまで取り組んだ卒業研究等々、掛け替えのない貴重な経験を通して多くの知識と技術を身に付け、沢山の成果を挙げました。

そして、本日ここに卒業の日を迎えることができましたことを心から祝福します。卒業おめでとうございます。

先日、ラスベガスで世界最大級の家電IT見本市「CES」が開催されましたが、高速大容量の第五世代(5G)移動通信システム、自動運転の電気自動車、8Kカメラ搭載のスマートホン、空飛ぶタクシー、

モノやサービスがインターネットで繋がる「コネクテッド・シティ」の実証実験等々、従来のテクノロジー企業が枠を超えた近未来の姿が提示されました。更に総務省が、5Gの次世代規格6Gへの総合戦略を策定する有識者会議を充足させたこととです。変化に満ちた時代に生きていくことを日々感じています。これらの技術革新は、情報処理を学んだ皆さんにとり、胸躍らせ活躍できる絶好のチャンスでもあります。

卒業後も同じ志に向かって共に歩んだ仲間との絆を大切にしながら、修得した技術に更に磨きをかけて下さい。卒業後の新たな人生でのご活躍を大いに期待しています。



卒業生に贈る言葉

2年担任 宗像 徹

28期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コンカレを巣立つ皆さんは、これからがスタートです。社会人になるにあたって、まず「自分の人生」というプログラムのこれから先をしっかりと設計・プログラムしていきましょう。自分が将来どのような人になりたいか、そのためにはどのような行動をとらなければならぬか、思い描いてください。それが出来たら、次にプログラムを実行していきましょう。プログラムはソースコードを入力するだけでは動きません。そして、実行しなければ、それが正しいのか間違っているのかも分かりません。もしも間違えていたとしても、自信を無くすことはありません。その間違いを正せば良いので

す。また、正しかったとしても、もっと良い方法がないか探してみよう。そうすることで、「自分の人生」というプログラムはどんどん良くなっていきます。皆さんの現状は、今までの実行結果そのものです。コンカレで学んだことを生かして社会で活躍し、皆さん自身が自分のプログラムは最高だったと思えることを祈っています。

この2年間は、たくさん貴重な経験をすることができました。これからの学校生活にワクワクした入学式、わからないところを相談しあつた資格試験の勉強、学年間わずらわしさを深め合った学校行事、笑顔の絶えない休み時間。すべて素敵な思い出です。



卒業おめでとう

卒業にあたり

ITエンジニアクラス 植杉 拓海

私のコンカレでの2年間はあっという間に過ぎ去っていきまし

2018年4月。期待と不安を胸に、入学しました。入学当初は覚えることがたくさんあり、大変だと感じていました。「ITパスポート」の模擬試験に初挑戦した時は、国家試験合格の厚い壁を思い知りました。それから試験に合格できるように、教科書を見返して復習を徹底したり、先生方や友達に確認したりしながら必死に学習に取り組みました。その甲斐があつてか、最初の1年間で「ITパスポート」と「基本情報技術者」2つの国家試験に合格できました。

2年生になると実習の授業が多くなり、今まで学んだことを生かす場面が多くなり、これまでの学習が基礎となつていくことを実感しました。また、学習だけでなく、上級生の立場に立つて学校行事を進めたり、オープンキャンパスや一般市民向け講座のアシスタントなどにも積極的に取り組んだり、私にとつて貴重な経験を得られました。

私がこの2年間で学んだことは、「助けは身近にある」ということです。一人で物事を考えるには限界があります。しかし、仲間や先生方の助けによって考えに幅が広がり、乗り越えられます。この学びを忘れることなく社会の一員として頑張っていきたいと思

ITビジネスクラス 遠藤 智子

この2年間は、たくさん貴重な経験をすることができました。これからの学校生活にワクワクした入学式、わからないところを相談しあつた資格試験の勉強、学年間わずらわしさを深め合った学校行事、笑顔の絶えない休み時間。すべて素敵な思い出です。

卒業を迎えて

学生会会長 三浦 千勢



私はいわきコンピュータ・カレッジに入学して多くのことを知り学びました。2年間の学校生活の中で一番に思い出すことは、学生会の役員をやってみなにかと勧められたことです。こんな私で務まるのか不安でしたが、今までそういことがなかったので凄く嬉しくて胸がいっぱいになりました。その勧めがあつたから、学生会の会長として役職を務めることができました。

春秋行われたスポーツ大会、春はグラウンドでの競技を皆で相談し、誰もが楽しめる内容にすることができました。秋は屋内競技で、1・2年生共に優勝を目指し競い合いました。全員が協力し合い、思い出に残るスポーツ大会とする

ことができました。次に私が1年生の時に開催された文化祭です。私にとつて学生会副会長としての文化祭は初めての体験でした。皆で放課後遅くまで一生懸命準備をし、文化祭当日を迎えることができたことを、とても嬉しく思いました。来場者は勿論、自分達も楽しむことができました。

本校で学生会会長を務めることができたことを大変嬉しく誇りに思います。これから社会人として、これまで本校で経験したことを生かして頑張りたいと思います。先生方ははじめ支えてくれた学生会役員、そして学生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。

新任職員紹介



部長 木村 修

1年生の時はプログラミングやホームページ作成、アルゴリズムなど今まで学んだことのない授業に苦戦しました。先生方やクラスメイトが理解できるまで教えてくれたり、テストで良い点が取れるように復習するなど、当時は辛い時間でしたが、それを乗り越え、テストで良い点数を取れた時はとても嬉しかったことを覚えています。

2年生ではマンツーマンでWordの操作方法を教える実習授業がありました。テキストを読みながら一から教えるという機会がなかったため、自分の教え方で理解していた自分の言葉の乏しさを痛感しました。授業後テキストの復習をし、次のマンツーマンの時の教え方を考えるなど今までのない努力をしました。最終日には受講者の方から「最初は不安だったけど、今は自信がついた」との言葉をいただき、達成感を感じました。

出身は生まれも育ちも岡山県津山市です。高校卒業後は東京と九州博多で学生時代を過ごし、アルパインに就職、38年間勤めました。そこでは一貫して「車室内で世界No1の音を作る」が仕事でした。もともと音楽が大好きで中学までは「プロになりたい」夢を持っていましたが、世の中には才能がある人が山ほど居る事を痛感し、それではと、音楽家と聴取者の中間である音響エンジニアになった訳です。

その仕事では、モノ造りを学んだ他に、米国駐在を含め海外各国を飛び回る事ができ、自分の大きな財産になったと思っています。趣味はジャズバンドでトランペットを吹く事とマラソンです。毎年いわきサンシャインマラソンにも出ています。宜しくお願

就職状況

(7年連続100% H25～R元年度) 五十音順

- (株)アイティ・イット
- (株)アウトソーシングテクノロジ
- (株)インフォテック
- エム・デー・ピー(株)
- (株)FSK
- クリナップソリューション(株)
- (株)江東微生物研究所
- 社会福祉法人五彩会
- CTCシステムマネジメント(株)
- スリーイン(株)
- 東洋ワークセキユリティ(株)
- 公益財団法人ときわ会
- (株)ドームユナイテッド
- 日本オートマチックマシン(株)
- いわき事業所
- (株)東日本計算センター
- (株)ファミリー
- 富士テレコム(株)
- (株)リードテック

同窓会総会と懇親会報告

5月25日(土)、第27回同窓会総会をLATO V6階いわき産業創造館会議室にて開催しました。総会では、斉藤会長が所用で欠席のため大河原副会長が代わりに挨拶をし、30年度の決算報告、

31年度の予算報告の後、会則を一部変更する議案が出されました。これは、会則に会計の役割について「第6章の役員第11条4・b. 会計・管理に関すること。」と記載されていたが、会計の業務を明確にしたいと、「第6章の役員第11条3・会計は本会の会計にあたる。」へ変更する内容でした。出席した会員の満場一致で議決されました。懇親会は、ラトブ3階「La・Pa・Pa」で開き、懐かしい仲間と近況を報告し、楽しいひと時を過ごし散会となりました。

同窓会役員名簿

令和元年度の役員です。()内は期生

- 会長 斉藤 貴則(2) 再
 - 副会長 鎌田 博希(2) 再
 - 副会長 大河原 崇(3) 新
 - 会計 熊谷 美沙(22) 再
 - 監事 我妻 直也(20) 再
 - 監事 蛭田 雄大(20) 再
 - 監事 吉田 健吾(22) 新
- 28期生のクラス役員を紹介いたします。
- 植杉 拓海 遠藤 智子
 - 小泉 公人 三浦 千勢

La・Pa・Paにて懇親会の様子



